

(5)トラブル事例⑤ 「組み立て式自転車」自分で組み立てられる？

ア 学習のポイント

- 店舗での購入にするのか、インターネット通信販売にするのかなど、さまざまな購入方法がある中で、自分にとって適切な購入方法を検討しましょう。

イ トラブル事例⑤の特徴と注意事項

トラブル事例⑤では、インターネット通信販売で自転車を購入して自分で組み立てて使用を開始したところ、使用からわずか2か月程でブレーキが故障してしまったというトラブルが起きてしまいました。トラブルの原因は不明ですが、専門知識がないままに自力で組み立てた際にミスがあったのかもしれませんが、また、事業者から部品を送るという提案がされていますが、事業者のサポート体制もない中では自力での部品交換は困難です。購入前に、購入者による組立てが必要な製品であることや事業者のサポート体制がないことをよく読んで購入すべきだったといえるでしょう。

このようなトラブルに遭わないために、特に次の点に気を付けましょう。

(ア) 自分にとって適切な購入方法を検討しましょう。また、契約内容を確認し、事業者のサポート体制を確認しましょう。

インターネット通信販売で、自転車などの組立て・整備が必要な商品を購入する場合には、自分自身にその製品の組立て等に関する専門知識があるのか、事業者のサポート体制はどうなっているのか、近隣の店舗では売っていないのか等をよく考えて購入を決める必要があります。店舗での購入の場合と比較すると、資格を持った専門家による最終点検・整備がなく、各部品の役割やメンテナンス方法、使用上の注意について直接の説明も受けられないことが通常です。ということは、その分だけ、消費者自らが主体的に製品の取扱方法について調べ、把握する必要があります。自転車の専門知識もなく、整備・点検を受けられる環境にもない人の場合であれば、店舗による購入の方が向いているといえるかもしれません。

(イ) 個人輸入の場合、日本で定める安全基準を満たしているかも確認しましょう。

インターネット通信販売の場合、自覚の乏しいままに海外事業者から商品を個人輸入することになっている場合があります。そのような場合、その商品が日本における安全基準を満たしているか、行政が発信する事故情報や注意喚起情報が出されていないかなどを予め自身でよく確認しておく必要があります。消費者庁からの発表（令和元年8月30日ニュースリリース）によると、美容機器（ローラーセット）を個人輸入して使用したら肌トラブルが起きたというケース、個人輸入したダイエットサプリメントを服用したら手足の震え等の症状が出るようになったというケースなどが報告されています。

また、日本で販売されているメーカーの商品であっても、国内直営店や正規代理店からの購入以外の場合には製品保証に依りてもらえないケースもあります。個人輸入は珍しい商品が手に入るという魅力もありますが、よく調べないままに実行するとリスクが伴う場合もあることを覚えておきましょう。

